

① はじめのおいのり、または、さんび (なるべくみんなが知っているもの)

② 礼拝説教に関係した短いお話し ・マタイ26章36～46節

聖書は、どのように生きれば、神様に祝福されて幸せに生きれるかを教えています。しかし、聖書の言葉に従っていかうと思っても難しい事もあります。例えば、自分に意地悪する人の事を「イエス様と同じように愛の心で赦そう」と思っても、“とてもできない”と思う時もあります。そんな時どうすれば良いのでしょうか。イエス様が、どのようにされていたかを学びましょう。

イエス様はお祈りを通して沢山の病気の人をいやされました。だから、病気で困っている人がイエス様にお祈りをしてほしくて、次から次へとやってきて、夜遅くまでかかるほど忙しい毎日でした。それでも、イエス様の心は、神様の愛と力一杯でした。その秘訣は、いつもお祈りされていたからです。イエス様は、お祈りを通して、いつも神様の愛と力を受け、何を神様が願っておられるのか知られました。ですから、イエス様はお祈りする事をとても大切にされました。時には、朝早く起きて祈られ、時には一晩中祈られました。又、イエス様にとっても、私達の罪をぜんぶ背負って十字架にかかることは、とても苦しい事でした。ですから、お弟子さん達にもお祈りしてくれるように頼み、イエス様は夜の間ずっとお祈りました。そして、お祈りが終わられると、イエス様の心には、すべての人を赦す神様の愛と、どんなに苦しくても神様に従っていく力が一杯になりました。

私達の神様は、朝でも、夜でも、どんな時でも私達のお祈りに耳を傾け、私達にとって最高のものを全て与えたいと願っておられる神様です。ですから、私達はイエス様のように周りの人を愛する力、神様の言葉に従っていける力が与えられるように、毎日お祈りしましょう。又、1人では祈りきれないような時は、教会の人と一緒に祈りしましょう。病気や困っている人の為、まだイエス様を信じていない人の為に、愛の心でお祈りし続けましょう。



③聖書の言葉を2回告白しよう。

たえず^{いの}祈りなさい。

だい1テサロニケ5の17(新改訳)



④チャレンジしよう 「まいにち、おいのりしよう！！」

【ア】じぶんのために おいのりしよう

●イエスさまのような あいのところで、かぞく、ともだち、まわりのひとに やさしくできるように、

【イ】びょうきや、こまっている ひと のために おいのりしよう

※なまえ(びょうきや、こまっているひと)

●……さんのところと、からだに げんきが あたえられますように

【ウ】イエス様をしんじて すくわれるように おいのりしよう

※なまえ(ともだち、かぞく など)

●……さんに、イエスさまのことを つたえられるように、
……さんが、イエスさまのことが よくわかり、しんじられるように

●できたら ○をしよう 1 2 3 4 5 6